

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年9月25日(2024.9.25)

【公開番号】特開2023-30953(P2023-30953A)

【公開日】令和5年3月8日(2023.3.8)

【年通号数】公開公報(特許)2023-044

【出願番号】特願2021-136381(P2021-136381)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和6年9月13日(2024.9.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、

遊技の制御を行う遊技制御手段と、

遊技の制御に関する情報を記憶可能な記憶手段と、

遊技の制御の機能に関する格納領域を含む格納手段と、

前記遊技制御手段において発生する割込み要求を制御する割込みコントローラと、

シリアル通信方式による通信を制御するシリアル通信回路と、を備え、

前記格納手段は、

30

前記割込みコントローラを使用するか否かを示す値と前記シリアル通信回路を使用するか否かを示す値を設定可能な第1領域と、

少なくとも前記割込みコントローラの制御に用いられる値と前記シリアル通信回路の制御に用いられる値を設定可能な第2領域と、を含み、

前記第2領域は、前記記憶手段へのアクセスを許可する旨を示すアクセス許可値を設定可能な特定格納領域を含み、

前記遊技制御手段は、電力供給の開始にもとづいて実行される起動時処理において、

前記第2領域に前記割込みコントローラの制御に用いられる値と前記シリアル通信回路の制御に用いられる値を設定する制御用格納処理を実行可能であり、

前記制御用格納処理が実行された後に、前記第1領域に前記割込みコントローラを使用する旨を示す値と前記シリアル通信回路を使用する旨を示す値を設定する設定用格納処理を実行可能であり、

前記設定用格納処理が実行された後に、前記アクセス許可値を前記特定格納領域に設定可能である、遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

40

50

パチンコ遊技機等の遊技機として、電源投入時の処理を行う遊技機がある（例えば特許文献1）。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特許6124313号公報

10

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

特許文献1に記載の遊技機は、機能に関するレジスタについて鑑みられておらず、改善の余地があった。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

この発明は、上記実状に鑑みてなされたものであり、適切な遊技の制御を行うことが可能な遊技機の提供を目的とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

30

【0006】

(1) 遊技を行うことが可能な遊技機であって、

遊技の制御を行う遊技制御手段と、

遊技の制御に関する情報を記憶可能な記憶手段と、

遊技の制御の機能に関する格納領域を含む格納手段と、

前記遊技制御手段において発生する割込み要求を制御する割込みコントローラと、

シリアル通信方式による通信を制御するシリアル通信回路と、を備え、

前記格納手段は、

前記割込みコントローラを使用するか否かを示す値と前記シリアル通信回路を使用するか否かを示す値を設定可能な第1領域と、

少なくとも前記割込みコントローラの制御に用いられる値と前記シリアル通信回路の制御に用いられる値を設定可能な第2領域と、を含み、

前記第2領域は、前記記憶手段へのアクセスを許可する旨を示すアクセス許可値を設定可能な特定格納領域を含み、

前記遊技制御手段は、電力供給の開始にもとづいて実行される起動時処理において、

前記第2領域に前記割込みコントローラの制御に用いられる値と前記シリアル通信回路の制御に用いられる値を設定する制御用格納処理を実行可能であり、

前記制御用格納処理が実行された後に、前記第1領域に前記割込みコントローラを使用する旨を示す値と前記シリアル通信回路を使用する旨を示す値を設定する設定用格納処理を実行可能であり、

40

50

前記設定用格納処理が実行された後に、前記アクセス許可値を前記特定格納領域に設定可能である。

10

20

30

40

50